

国見九条の会ニュース 第6号

2020年12月5日 連絡先 ☎022-275-7493 (白砂) 〒981-0943 青葉区国見 6-15-3

学術会議員任命拒否に批判集中

【宮城県／宮城県内九条の会連絡会】

宮城県内九条の会連絡会は11月10日、仙台市の中央通繁華街で、憲法9条を守る宣伝をしました。15人が参加し、県うたごえ協議会の女性が平和の歌を響かせるなど、にぎやかに署名を訴えました。横断幕を掲げビラを配りながら交代でマイクを握り「安倍政権の継承を掲げる菅政権は、日本学術会議の任命で、戦争法等に反対した人を排除しました。学問の自由や民主主義が脅かされています」と訴えました。

「がんばってください」と話す女性や「私は署名するくらいしかできないけど、憲法を守るためよろしく願います」と語る仙台市泉区の高齢の女性など、多くの市民がペンをとりました。

青葉区の60代の女性は、「9条に自衛隊を書き加えてはいけません。9条が変わってしまうから」と話し岩沼市から買い物に来た笠井輝子さん(73)は、「最近、きな臭いことが多くて、平和な世の中が続いてほしいので、憲法を変えてはいけません」と語りました。

仙台市若林区の菊地真弓さん(84)は、「(任命拒否された)加藤陽子さんは、反戦の立場ではっきりとものを言うので、外されたんじゃないでしょうか。就任早々でこういうことをする人っていやですよね」と署名しました。

『九条の会ニュース2020.11.21 392号』より転載



敵基地攻撃能力ってなに？学習会

11月21日、宮城県内九条の会連絡会は宮城県平和委員会常任理事の本田勝利さんを講師に『敵基地攻撃能力』ってなに？の学習会を仙台市シルバーセンターにて開き19名が参加しました。本田さんは敵基地攻撃論が出て来た歴史的経過を1956年から振り返り、アメリカが日本を盾として米本国を守ろうとしている段階から、日本を矛として海外の国に先制攻撃を仕掛けようとしている段階、これを公言することで武装強化しつつ国民に納得させようとしている段階にまで来ていると様々な軍事的、政治的事実に基づいて説明されました。これは憲法9条にも国際法にも背くものであり核兵器禁止条約の批准を政府に求めるとともに、敵基地攻撃能力の保有をやめさせる運動を強化していきましょうと話されました。

国見九条の会会員の皆様へお願い

今回はニュースを一人5枚づつ配布します。裏面の首相官邸に送る世話人一同による「日本学術会議」に関する声明を知り合いの方にも広げ話題にして下さい。署名は連絡係白砂英男にお届け下さい。